

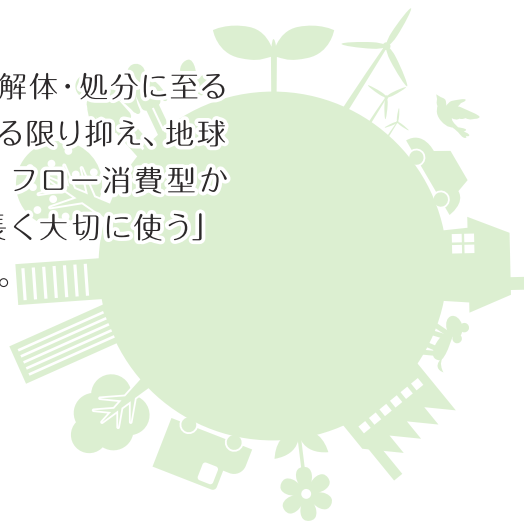
住まいの脱炭素化と快適な生活空間を目指して
環境負荷の少ないライフスタイルを実践しませんか

断熱リフォームのすすめ

この冊子では断熱リフォームをすすめる上での
情報を提供いたします。

- ◎ 秋田の住宅を取り巻く現状
- ◎ 断熱リフォームの3つの種類
- ◎ 断熱リフォームの効果：省エネルギーと暖冷房費の抑制
- ◎ 断熱リフォームの効果：温熱環境の改善と健康維持・増進
- ◎ 断熱リフォームの費用：全体リフォームの概算と費用回収年数
- ◎ 断熱リフォームに補助金情報を活用してみませんか？

住宅の建設から居住、修繕、更新（リフォーム）、解体・処分に至る住宅のライフサイクルを通じてCO₂排出量をできる限り抑え、地球環境への影響を減らすため、「つくっては壊す」フロー消費型から「いいものをつくって、きちんと手入れして、長く大切に使う」ストック型を主流にすることが重要になってきます。



発行 **秋田県地球温暖化防止活動推進センター**
(認定NPO法人環境あきた県民フォーラム)

秋田の住宅を取り巻く現状

戸建住宅の年間CO₂排出量 (図1)

秋田県は暖房由来のCO₂排出量 (図1の「暖房」) の割合が高くなっています。したがって住宅の断熱性能を高めればCO₂排出量の削減が期待できます。

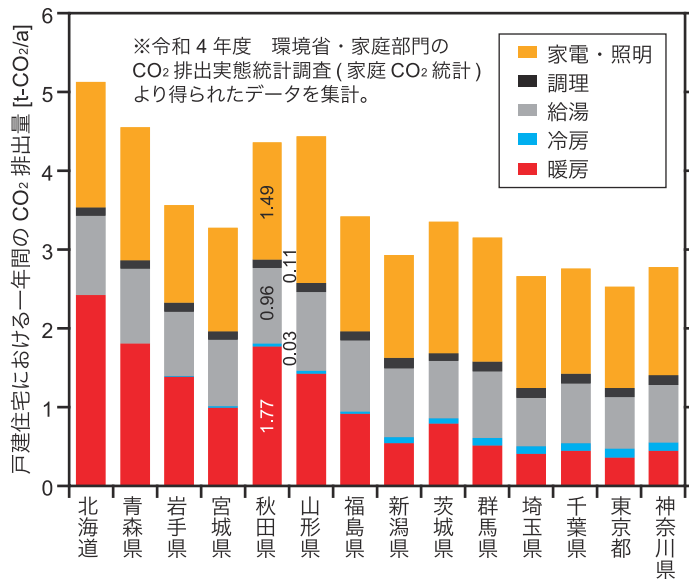


図1 戸建住宅1世帯当たりの年間CO₂排出量

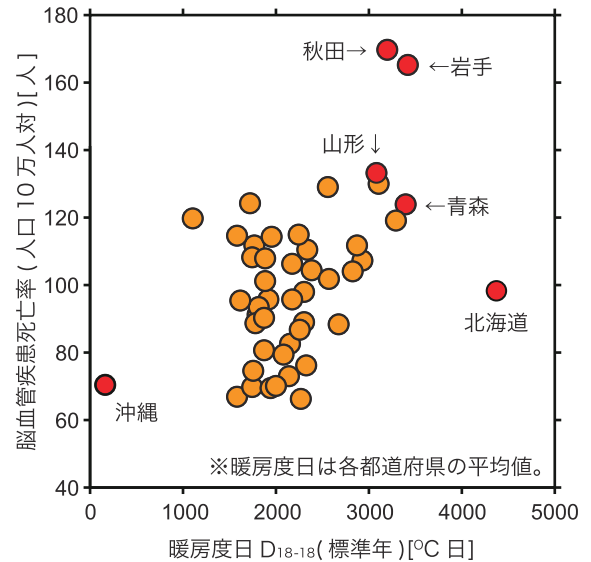


図2 暖房度日と脳血管疾患の死亡率の関係

住宅の寒さと脳卒中の死亡率 (図2)

秋田県の脳血管疾患の死亡率は高いのですが、暖房度日(暖房が必要な度合い)との関連では北海道と傾向が異なります。これには、北海道の住宅は断熱性能が高いため家全体が暖かく、秋田県を含む北東北の地域では家の中でも寒い場所があることが影響している可能性があります。

既存住宅の1断熱性能 (図3)

断熱性能が高い「断熱等級4」以上の住宅の割合は、2050年になっても秋田県では全国よりも低く推移すると予想されています。そのため、秋田県では新築住宅の高性能化と合わせて、既存の住宅を対象とした断熱リフォームを進めることが大切です。

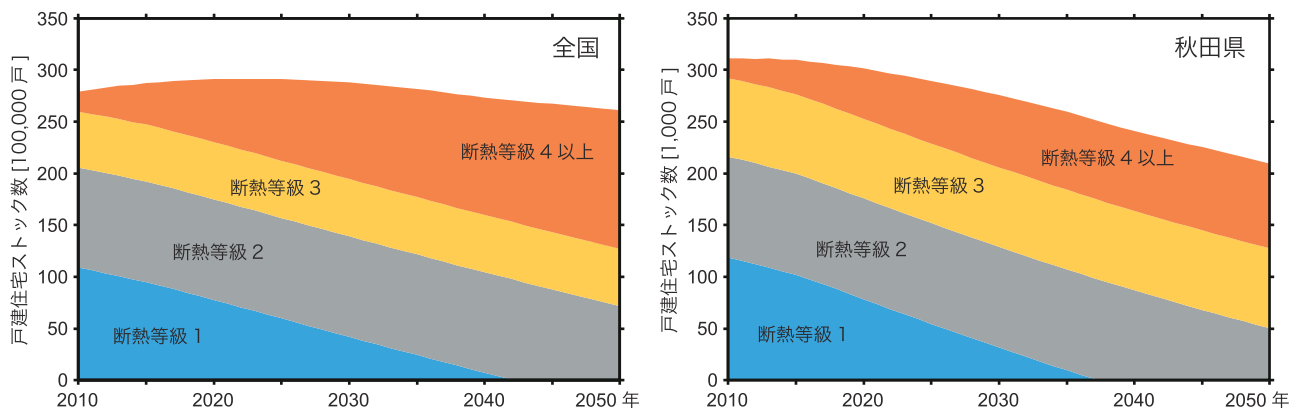


図3 戸建住宅のストック数の2050年までの推移と断熱水準 (秋田県立大学 長谷川兼一 作成)